

呼吸器外科

部長 森山 重治

呼吸器外科のご紹介

呼吸器外科は以前、山本 彰先生が担当していましたが、2018年3月に退職されて以来常勤医は不在で、高知大学呼吸器外科の穴山貴嗣先生による毎週木曜日の外来診療だけになっていました。2020年4月に森山重治が新たに呼吸器外科部長として再開することになりました。森山は岡山大学呼吸器・乳腺内分泌外科（旧第2外科）講師を経て1995年1月に岡山赤十字病院に赴任して呼吸器外科を立ち上げ、25年間勤務して最後の3年間は副院長を務めました。岡山赤十字病院では肺癌、縦隔腫瘍、自然気胸をはじめとした呼吸器疾患を中心として漏斗胸形成術や手掌多汗症なども扱っていました。1995年に着任時から国内でもいち早く胸腔鏡手術を積極的に導入し、肺癌に対する胸腔鏡手術は1500例の実績があり、国内で呼吸器外科分野における鏡視下手術をリードしてきました。肺癌、縦隔腫瘍、自然気胸はほぼ100%胸腔鏡下に低侵襲な手術を行っています。肺癌の場合、手術の傷は切除肺を取り出すための3cmの小開胸と1.5cmのポート孔が2カ所です（図1）。肺癌の胸腔鏡下手術の入院期間は中央値で5日（術後3日目退院）、平均値で8.9日でした（表1）。胸腔鏡手術は低侵襲なため、術後の合併症が少なく、日常生活・社会復帰が早く、術後疼痛が少なく、呼吸機能が温存されることが森山らの実績で証明されています。

岡山赤十字病院での豊富な経験を高知県の皆さんにも広く役立てていただけるよう努力していく所存ですので、症例がありましたらご紹介のほど何卒宜しくお願いいたします。

手術実績

2020年4月に着任したばかりで、症例数はまだ少ないのですが、以下に2021年1月までの10ヶ月間の手術症例数を示します。全症例が鏡視下手術でした。気管切開などの小手術は省略しています。

表1 手術症例数（2020.4～2021.1）

疾患	術式	症例数
原発性肺癌 (全て完全胸腔鏡下)	部分切除	1
	区域切除	3
	葉切除以上	13 (胸壁1)
転移性肺腫瘍 (全て完全胸腔鏡下)	部分切除	2
	区域切除	1
	葉切除以上	0
原発性自然気胸	完全胸腔鏡下	5
続発性(難治性)気胸	完全胸腔鏡下	2
血気胸	完全胸腔鏡下	1
縦隔腫瘍	開胸	0
	完全胸腔鏡下	3
縦隔膿瘍	完全胸腔鏡下	1

術後肺癆	完全胸腔鏡下	2
急性膿胸	完全胸腔鏡下	3
肺・縦隔リンパ節生検	完全胸腔鏡下	3
心嚢開窓術	完全胸腔鏡下	1
横隔膜交通症	完全胸腔鏡下	1
手掌多汗症	完全胸腔鏡下	1
合計		43

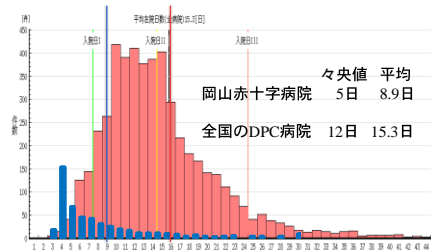
図1 胸腔鏡下肺癌手術の手術創

図2 在院日数の全国DPC病院との比較

完全胸腔鏡下手術の手術創



胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術の在院日数 岡山赤十字病院と全国DPC病院の比較



学術発表・講演会等

学会発表

なし

講演

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
Postgraduate Course 肺切除後リーク制御とリーク遷延時の対応	森山重治	第73回日本胸部外科学会定期学術集会	2020.10.31 名古屋
肺癌 最近の外科治療～小さく切つて治す肺癌手術～	森山重治	高知ロータリークラブ卓話	2020.7.28 高知

論文発表・著書

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
“若年者”の自然気胸	森山重治、葉山牧夫	日本気胸・嚢胞性肺疾患学会雑誌 Vol.20, 増刊号	2020:20:3-10